

## デイトタイム透析とオーバーナイト長時間透析とのクロスオーバー比較

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック 大村腎クリニック

○堀幸一郎 田口尚人 矢野利幸 高木伴幸 前川明洋 澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司 船越哲

### 【背景】

2021年のCOVID-19感染拡大により4週間オーバーナイト透析を休止し、その後再開した。つまり、期せずしてデイトタイム透析とオーバーナイト透析のクロスオーバーを経験したため、生化学データの推移や透析中の処置回数等を報告する。

### 【対象】

当院オーバーナイト透析実施中の患者9名(男性8名、女性1名、平均年齢 $54.8 \pm 6.5$ 歳、平均透析歴 $13.6 \pm 10.3$ 年)。

### 【方法】

オーバーナイト透析(平均透析時間8時間)と休止期間中のデイトタイム透析(平均透析時間4.5時間)の生化学データや透析中の処置回数等を比較した。

### 【結果】

オーバーナイト透析からデイトタイム透析に移行した際の生化学データは、BUN( $65.8 \pm 2.4$ )、Cr( $13.2 \pm 0.6$ )、K( $4.9 \pm 0.3$ )、P( $6.0 \pm 0.7$ )と有意に上昇した。再びオーバーナイト透析となった後には、BUN( $56.4 \pm 2.5$ )、Cr( $11.1 \pm 0.2$ )、K( $4.7 \pm 0.2$ )、P( $4.7 \pm 0.2$ )と有意に改善していた。デイトタイム透析期間には血圧低下に伴う処置を要する回数が、オーバーナイト透析時の平均0.1回から1回へ有意に増加した。

### 【考察】

COVID-19感染対策のためにやむなくオーバーナイト透析を休止し、結果的に標準的透析時間と長時間透析の比較をすることができた。今後も患者の安全を最優先しながら、オーバーナイト長時間透析の評価と普及に努めたい。